

『もりおかの短歌』夏の部

〈一般部門〉 優秀賞十首

もりおかの

夏なつはさんさの幸さいこうら呼来と

太鼓たいこの音おとで幸しあわせ願ねがう

盛岡市 赤坂昌信

驟雨しゅうう去り オーロパークにじかかに虹懸り

馬走うまはしり抜ぬけ

ヨシツ！ そのまま

千葉県浦安市 岩田一

願教がんきょう寺じに

先祖せんぞの墓はかに参まいる日ひは

九条武子くじょうたけこの歌碑かひよ読み嬉うれし

盛岡市 小林貴史

ことさら とどろく  
殊更に轟き澄みて

たいこ ね  
太鼓の音

よねんぶ  
四年振りなるさんさ踊りは

盛岡市 佐藤忠行

やま そら み しょうねん  
この山とこの空を見た少年の

じゅうご こころ  
十五の心と

なつ  
たどりゆく夏

大阪府枚方市 豊田佳子

もりおか てんまんぐう やしろ  
盛岡の天満宮の社から

いわてさんみ  
岩手山見る

やまびら ひ  
山開きの日

盛岡市 西川政勝

なかつがわ  
中津川

だんごいし  
団子石なるせせらぎに

あかふんどし なつ まぼろし  
赤禪の夏の幻

東京都江東区 藤村清彦

あつ ひ み し わた  
暑き日に身に染み渡る

けんじ みず あま  
賢治の水ほのかに甘い

とき つな  
時の繋がり

フロリダ州ドラル 古澤春

おやこ うまやす どころ じゆにゆう  
親子馬休み処に授乳する

ひとみな  
人皆ほほえむ

うま  
チャグチャグ馬コ

盛岡市 堀米公子

ねころ  
寝転べば

なつくさあお か はな  
夏草青き香を放つ

いま たくぼく そら  
今につながる啄木の空

宮城県仙台市 松澤ふさ子

『もりおかの短歌』夏の部

〈ジュニア部門〉 優秀賞

(応募時、中学生以下に限る)

該当なし

## 【講評】 一般部門

猛暑ではありましたが好天に恵まれた今年の盛岡の夏でした。さまざまな行事も従来通りの賑わいを取り戻しました。また、遠くからもたくさんのお客様が訪れ盛岡のよさを味わってくださったようです。寄せられた多くの作品から、まず、盛岡で詠んだ短歌、盛岡に関わる短歌であることがはっきりしている作品を選びました。次に作者の感動がいきいきと伝わってくること、新鮮な驚きと発見があること、今ここに生きているという視点から詠まれている作品に注目しました。次回もまた多数の応募をお待ちしております。

令和五年九月選 夏の部

投稿数 百七 首

選者 吉田 史子